

学校の業務改善について

1 校種別超過勤務時間の状況

○超過勤務時間の状況（4月～3月） ※（ ）内はR5実績（同時期比較）

校種	平均時間外 在校等時間 (全教職員)	45時間以下 (延べ数)	80時間以上 (延べ数)	
小学校	30:44(←33:01)	78.6%(←73.3%)	30(←31)	0.1%(←0.1%)
中学校	41:09(←43:24)	59.2%(←54.0%)	122(←227)	0.6%(←1.0%)
高校	32:58(←34:01)	71.4%(←69.6%)	42(←58)	0.2%(←0.3%)
特別支援	18:38(←19:38)	95.7%(←93.7%)	1(←3)	0.01%(←0.03%)

○月80時間以上の超過勤務者数（月ごと経年比較） (人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	111	87	107	25	3	61	62	36	4	8	14	24	542
R5	54	55	81	15	5	39	20	20	3	6	8	14	320
R6	53	36	21	7	3	23	19	17	1	6	2	7	195

2 業務改善に係る新規の人材配置について

○教職魅力発信ディレクター：教育庁 主任 増山温子

- ・学校や教職員の魅力を取材および発信
- ・意欲の高い若手教員が学び合うコミュニティづくり
- ・子どもや保護者の応援の声を集めるイベントの開催
- ・教員志望の中高校生対象のワークショップの開催

○学校経営アドバイザー：

教職員課 北川裕之（嶺北小中学校担当） 稲田俊彦（嶺北の県立学校担当）

津田雅幸（嶺南の小中学校・県立学校担当） 田中悟（嶺南小中学校担当）

- ・教職員の意欲を引き出す組織マネジメント、業務改善について情報提供
- ・管理職に対し、校経営に関する各種助言や支援
- ・学校や市町教委を訪問し、各校の課題について整理・提案・伴走

○教育人材コーディネーター：教職員課 永廣裕子

- ・ペーパーチャー説明会の企画・運営
- ・学校で働きたい人と学校や教育委員会との連絡調整
- ・業務に必要なスキル（授業、ICT、マナー、人間関係づくり）の研修、学校見学会の実施
- ・中学校・高校・大学と連携し、教職の魅力発信

※アドバイザーとコーディネーター：17市町教委訪問、17県立学校訪問（校長赴任2年以上）

○（株）「先生の幸せ研究所（学校専門コンサルタント）との連携（予定）

- ・学校を訪問し、教職員対象のワークショップの実施
- ・学校業務改善の具体策への合意形成のサポート

○チーム担任制の実施（小学校14校、中学校6校）

- ・1つの学級に複数の教員が連携して指導
- ・児童生徒の多面的、客観的理解につながるとともに、担任業務負担の軽減につながることを期待
- ・課題や効果について全県で共有

3 業務改善に関する各市町の取り組み（GGK ニュースより）

GGK No	県市町名	教委・学校名	具体的な取り組み
9	県教委 おおい町	市町教委 名田庄小学校	・市町教育委員会対象のGGK ミライカフェの開催 ・グループによる組織的な学校運営改善

管理職への新たな 支援を始めました

令和7年4月、「学校経営アドバイザー」として4人の校長経験者を任用し、管理職の先生方の学校経営の相談に対して助言等の支援を行うことにしました。

気軽にご相談ください

- ・教職員の育成に関すること
- ・児童生徒に関すること
- ・危機管理に関すること
- ・学力向上に関すること
- ・業務改善に関すること
- ・その他、学校経営全般



担当者プロフィール



北川 裕之

(きたがわ ひろゆき)

- ・教職員課勤務：月～木曜日
- ・主に嶺北地区の小中学校を担当
- ・教育総合研究所長をしていました
- ・ICT関係の知識は豊富です

E-mail: AF00219@pref.fukui.lg.jp



稲田 俊彦

(いなだ としひこ)

- ・教職員課勤務：月～木曜日
- ・主に嶺北地区の県立学校を担当
- ・福井商業高校長をしていました
- ・クレーム対応の経験が豊富です

E-mail: AF00220@pref.fukui.lg.jp



津田 雅幸

(つだ まさゆき)

- ・嶺南教育事務所勤務：水曜日
- ・主に嶺南地区の小中・県立学校を担当
- ・嶺南教育事務所長をしていました
- ・様々な校種の方とのネットワーク

E-mail: AF00221@pref.fukui.lg.jp

田中 悟

(たなか さとる)

- ・嶺南教育事務所勤務：水曜日
- ・主に嶺南地区の小中学校を担当
- ・小浜美郷小学校長をしていました
- ・野菜づくりが得意です

E-mail: AF00222@pref.fukui.lg.jp

新規の依頼は、右の2次元バーコードの入力フォームから行ってください。管理職個人からの直接依頼のほか、市町教育委員会や校長会、教育研究会等の依頼にも応じます。



電話窓口

教育庁教職員課 0776-20-0563

嶺南教育事務所 0770-56-1302

学校と
教育に関わりたい
すべての人を
つなぎます

2025年4月

教育人材 コーディネーター が配置されました



＼ 主な業務内容 ＼

- ・ 教員免許をもっている人、学校現場で働きたい人への説明会・学校見学会等の企画や運営を行います。
- ・ 学校で働きたい人と学校や教育委員会との連絡調整を行います。
- ・ 学校で働く経験が浅い人への伴走支援を行います。電話相談、学校訪問も可能です。
- ・ 中、高、大と連携し、学生に教職の魅力を発信します。

◇ご相談、ご要望等がございましたら、下記の電話または2次元バーコードでお気軽にご連絡ください

4月より、教育人材コーディネーターが新たに配置されました。学校と人材・地域・社会をつなぎ、教育活動を支援します。学校で働く人材を発掘し、県内すべての教職員が生き生きと働けるように、環境を整えていきます

担当者プロフィール



永廣 裕子
(ながひろ ゆうこ)

- ・ 教職員課勤務
- ・ 令和7年3月まで福井市大東中学校の校長として勤務していました。

- ・ 教育に関わる人材を増やしていただけるように、精一杯取り組んでまいります。

E-mail: AF00223@pref.fukui.lg.jp



このGKKニュースで、何度となく取り上げてきた「バイアス」。当たり前を見直しバイアスを外すことで、教職員の負担を軽減させながら教育的価値を高めることにもつながります。

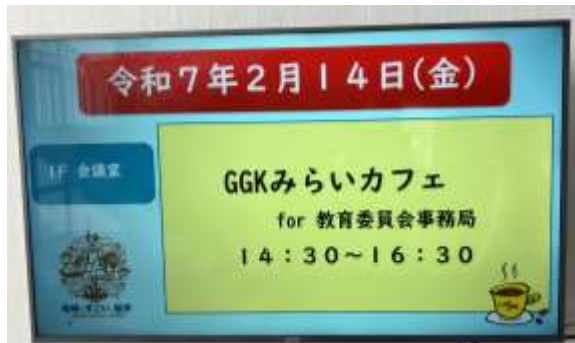
ふくいの子供たちと先生のウェルビーイングのための
 Gakko Gyomu Kaizen

GKKニュース2024 愛読者のためのオフイベント

GKKみらいカフェ
For 教育委員会事務局

第1回を
 開催しました!

2月14日(金)、午前には県庁本庁舎内、午後には嶺南教育事務所で、「GKKみらいカフェ」を開催しました。今回このイベントは、令和5年度から本県が参加している「文部科学省 学校における働き方改革の推進に関する調査研究事業」の一環として実施し、本事業を受託しているPwCコンサルティング株式会社および株式会社先生の幸せ研究所の担当者に講師として来県していただき開催しました。



「カフェ」と名付けた通り、fikaスタイルで開催したことで、とてもあたたかい雰囲気となりました。午前、午後共に複数の市町教育委員会や、教育庁各課、各機関からの参加者の立場や年齢は様々で、指導主事の先生方はもちろん、行政職の職員にも複数ご参加いただくことができました。

第1回の2月14日は、他県の事例も交えつつ現状を知り、そして児童生徒に向き合ったり、教材研究に向きあうための「創造的余白」を生み出すワークショップに挑戦しました。

講師から、このワークショップ実践のためのデータシートが参加者へ提供されましたので、早速学校で実践を！という参加者もいるかもしれません！

各所属や立場を越えて話し合うことで、それぞれの「バイアス」に気づくことができたり、それが取り払われていく瞬間もありました。また、「カフェ」の雰囲気も手伝ってか、学校業務改善を進めるうえでの心配事を話すことができた参加者もいて、第1回の開催としては、とても実りの多いものになりました。

▶第2回は3月14日(金)に開催します。こちらの様子もお届けいたします。

3グループで組織的な学校運営改善

●組織的な学校運営改善のねらい●

PDCAサイクル・ボトムアップの仕組みを導入し
 学校運営の改善を図る

- ① 学校経営への参画意識(意欲・問題意識)の向上
- ② 学校運営改善の取組による教職員の資質向上
- ③ 「成果」と「課題」を明確にした教育活動改善の実現



教職員を3つのグループに分ける

各グループのリーダーは、若手の教職員を抜てきし、ボトムアップで改善につなげる



スクールプランの「重点目標及び具体的な取組」について評価及び改善のための提案

第三者的評価で、俯瞰的な省察を行い、分掌主任・担任・担当等へ提案する形

- ①「豊かな心の育成(おもいやり)」
 - ②「健やかな体の育成(ちょうせん)」
 - ③「確かな学力の育成(かんがえる)」
- いずれか + 「家庭・地域との連携」
 ※学期ごと各グループで①～③を順番に



年間を通したPDCAの取組により学校運営の改善へ

▶様々な視点が入ることで、バイアスはずしや新しい視点・高い視座を得ることにつながる

●迷ったら原点に立ち返る●

どんな見直しも、「目的の共有」と「心の共有」が大切

◀4月に校長先生から教職員へ配布された「シン・名田庄小②」
 目指す学校像、目指す教職員集団の姿、
 大切にしてほしいことが4ページに渡って綴られている
 いつでも見返して原点に立ち返ることができる

4月に全家庭に配付している名田庄学校ガイド(両面刷A3)▶
 日課表、欠席連絡の仕方、服装、持ち物のことや、
 SCや保健室からのお願いなど、全学年共通の約束事
 がまとまっている。ご家庭で迷わないだけでなく、指導する教員側も迷わない。



ふくい教育チャレンジアワード 投票お願いします!

★81のエントリー、どれも素敵な実践です★

「ふくい教育チャレンジアワード2024」投票を受付中です！投票の権利があるのは、すべての福井県内公立小・中・高・特別支援学校の教職員および、県・各市町の教育委員会で働く職員です。投票の案内を別途配信していますので、ご確認ください。

①学びを引き出す部門から10点 ②働きやすさ向上部門から5点
 みなさんの創意工夫や頑張りを認め合う機会ですので、みなさまで声を掛け合い、ご投票ください。投票期間は3月7日(金)16:30まで★

■編集後記■

「カフェ」を開催したことで、GKKニュース担当者が、各教育委員会の担当の方と初めてお会いする機会を作ることができました。学校現場を訪問して現場を知ること、もちろんのこと、教育委員会事務局のみなさんとの協働の大切さを再確認する機会にもなりました。



福井の教育が いま、おもしろい!!

Education in FUKUI is now truly fantastic!

教えて先生！ふくい教育、ふくいの子どもたちって…？
実際に福井で働く先生にインタビューしてみました！



20代女性
小学校教諭

困ったことを相談したり、面白かったことをみんなで話したりしているときの職員室の雰囲気がすごく好きです。

福井の先生って、勉強熱心な方が多いなというイメージです。親切に教えてくれたり、いろいろと協力してくれたりするあったかい先生が多いです。

先生というチームの雰囲気がすごく良いので、先生と生徒の関係や、学級の雰囲気も良くなっているのではないかと感じています。

レベルの高い教育をしている福井県で先生をすると、教員のスキルもどんどん上がっていく感じがして、良い環境だなと思いながら働いています。



30代女性
中学校教諭



30代男性
高校教諭

福井の子どもたちは言ったことを素直に受け止めて、行動してくれる子が多いですね。また、自然に囲まれていることも良いなと思います。

近くに海があって山があって、冬になると雪が降るといのは、勉強したり過ごしたりするのに良いところだと思います。



福井県教育庁教職員課

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号

TEL:0776-20-0563 E-mail: kyosyoku@pref.fukui.lg.jp

チャレンジを楽しもう！



福井県教育長
藤丸 伸和

福井県はいま、「100年に一度」の大きな変化の時を迎えています。昨年3月には北陸新幹線が福井・敦賀まで延伸し、首都圏と直結しました。歴史的なつながりが深い関西や中京にも近く、交通利便性が飛躍的に高まりました。福井県への注目度も向上し、新幹線開業1年が経つ今も、来訪者は約2割の増加を続けています。新たに誕生した4つの新幹線駅をはじめ、リニューアルした「福井県立恐竜博物館」など、県内各地に新たな賑わい拠点が生まれ、「まちの光景」が大きく変わりつつあります。

福井県は、12年連続で「幸福度ランキング日本一」です。また、子どもたちの「学力・体力全国トップクラス」、合計特殊出生率が全国上位など、教育・子育て環境の良さで知られています。福井県の強みは、「人々の力」と「地域のつながり」。こうした強みを育んできたのは、ほかならぬ「ふくいの教員」の皆さんです。先生方は「地域の未来を担う子どもたちを育てる！」という高い志を掲げ、子どもたちの成長を自らの喜びとし、日々意欲をもって働いています。



合言葉は、「チャレンジを楽しもう！」です。

「くらしやすさ日本一」のふくいで、子どもたちとご一緒に「挑戦と成長」を楽しみましょう。



ふくいで教員になる「おススメの理由」を動画でチェック！▶

↑ [こちらをクリック！](#)



安全・安心の 職場環境

教職員と話す時間を大切にしています。職員室ではこちらから教職員に話しかけて、新たな挑戦を応援したり、困っていることを聞いて共感したりしています。対話しやすい雰囲気づくりを心がけています。

中学校 校長



子どもがのびのび 育つ環境

先生が親身になって相談にのってくるところが良いところです。子供についての話を聞いてもらうことで、先生への信頼感が高まり、この先生にだったら、我が子を安心してお願いできると感じるようになりました。

保護者



チャレンジを楽しむ 教職員の育成

教員は挑戦したことを認められる場がこれまで多くはなかったです。チャレンジアワードが始まったことで、自分の実践を称賛してもらえる場ができてありがたいです。これからも応募していきたいです。

小学校 教諭



さらに働きやすい 環境づくり

先生方の働きがいや働きやすさを高めるために、教職員と意見交換をする場を設けたり、業務改善のために工夫されたことをまとめたりしています。先生方がいつも笑顔で仕事ができる環境を目指しています。

教職員課 担当者



↓ [こちらをクリック！](#)



福井県 教員採用



◀福井県公立学校教員採用選考試験情報

教職員課公式instagram「ふくいで先生 魅力的やざ」▶



KYOUSYOKU.F